

2022 JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東 山梨県予選 要項

主催 (一社) 山梨県サッカー協会

主管 (一社) 山梨県サッカー協会 4種委員会

- 1 開催日 予選1次リーグ 令和3年10月23日(土)(予備日なし)
予選2次リーグ 令和3年10月31日(日)(予備日なし)
決勝トーナメント 令和3年12月4日(土)(予備日なし)
- 2 会場 予選1次リーグ 各パートで決定の上、運営責任チームは、10月4日(月)までに所属地区理事まで報告をお願いします。
※会場使用料については、各パートの負担とする。
予選2次リーグ 日世南アルプススタジアム 2面
小瀬補助競技場 2面
計4面(運営責任チーム(予選2次L参加チーム))
※会場使用料については、4種委員会から支出(参加チームでの運営となるため、運営費はありません。)

決勝トーナメント 小瀬補助競技場(役員及び事業運営部)

- 3 参加資格 ① 令和3年度日本サッカー協会4種登録済みの選手であること。
② 5年生以下であること。
③ スポーツ傷害保険に加入済みの選手であること。
④ 選手は大会初日から最終日までの大会期間中移籍し2チームに出場することは出来ない。
⑤ 会場確保及び運営等に協力できるチームであること。
⑥ 複数エントリーは不可とする。
⑦ 4種委員会が定める「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を遵守し、大会運営に協力できるチームであること。

4 大会規則

- ① 令和3年度(公財)日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。2020-21ルールを適用する。ただし、以下の項目については本大会用として特別に規定する。
- ② 競技者の数は8人(内1人はゴールキーパー)とする。大会登録選手数は20名以下とする。試合登録選手数は16名(ベンチ内の選手はビブスを着用すること。)とし、第1ピリオドと第2ピリオドで選手を総入れ替えとする。第3ピリオドのみ交代自由とする。
- ただし、同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することは不可とする。延長戦(決勝戦のみ)については前後半で同一選手の出場を可とする。また、自由な交代を適用する。退場、怪我等の場合においても、3ピリオド全てには出場することは不可とする。(試合中に選手が退場又は負傷した場合は、試合毎に登録を行った16名のうちから交代を行う。)

また、ベンチ入り選手の人数は20名以内、8名の交代要員と区分できるようにすること。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の為、会場によってはベンチ入り人数を交代要員の8名に制限する場合もある、ベンチ入り人数は会場責任者の指示に従うこととする。

- ③ ベンチ入りチーム役員（最低1名はD級以上の有資格者）は2名以上3名以内とする。テクニカルエリアを設置し、戦術的指示は、テクニカルエリア内からその都度1名の指導者に限り、立って伝える事ができる。
- ④ ベンチサイドは組み合わせ表の番号の小さいチームがピッチに向かって左側とする。
- ⑤ 警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。（翌開催日に持ち越す。）
- ⑥ 退場処分を受けた選手は、次の1試合に出場できず、当該チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。（翌開催日に持ち越す。）
- ⑦ 責任ある態度で行動しないチーム役員がいた場合、主審は当該役員をフィールド及びその周辺から立ち退かすことができる。
- ⑧ 用具、ユニフォームについては、日本サッカー協会規則に準ずるが、下記のとおりとする。ただし、ゴールキーパーの負傷により、フィールドプレーヤーが交替した場合のユニフォームはビブス着用を可とする。
 - a 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを着用しなければならない。
 - b 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - c 正・副の2色については、明確に異なる色とする。
 - d ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
 - e ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
 - f 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - g 前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - h ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - i アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - j アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - k 参加申込の際に登録した選手番号を付けること。シャツの前面及びショーツの選手番号はつけることが望ましい。
 - l ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、日本サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。
 - m シューズは固定式ポイントとすること。
 - n 出場選手は、すね当てを着用すること。
- ⑨ 全試合メンバー表を提出する。（試合開始30分前）選手の背番号については、大会期間中変

更できないものとする。

⑩ 選手証及び指導者資格証の提示は、次の通りとする。

試合会場運営者（会場運営責任チーム（予選1次L）、各地区理事（予選2次L）又は本部運営（決勝T））がメンバー表及び選手本人を選手証又はエントリー票（顔写真付き）と照合する。

（第1試合目のみ・照合後直ちに返却）

選手証に不備（不携帯、写真不貼付等）があった場合は、当該選手またはチームは試合に出場できない。（「KICKOFF アプリケーション表示の電子登録証」（スマホ・タブレット）も可）

なお、指導者資格証の確認については、上記の選手照合時に併せて行う。

5 参加方法

① 令和3年度において、（一社）山梨県サッカー協会4種委員会に加盟するチームであって、本大会に参加を希望するチームからの申込により行う。

② 参加を希望するチームは、**令和3年8月11日（水）**までに各地区理事に申込を行うこと。（各地区理事は、参加チーム名を事業運営部長及び峡北地区理事に報告を行う。）

③ 参加チーム数が確定後、抽選を**令和3年9月17日（金）**の4種委員会理事会時に行う。

④ 参加チームは、KICKOFFより「大会エントリー」申請を行うこと。

A 申請期間は、令和3年9月21日（火）～10月15日（金）

B 大会名「2022 JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東 山梨県予選」

C 申請後は、地区広報部（一次承認者）へ連絡し、最終承認後「大会申込書」＝「エントリー票」のプリントアウトが可能となる。

D 申請承認後、チーム役員及び選手の追加又は変更を希望する場合は、申請期間中に限り「差戻し」処理で対応する。その場合は各地区承認者への連絡が必要となる。

E 大会期間中は原則としてエントリー内容の変更を認めない。

6 試合方法

① 予選1次リーグ：8パートに分かれリーグ戦を行い、各パートの1位・2位チームが予選2次Lに進出する。（A～Hパート：3又は4チームリーグとする。）

② 予選2次リーグ：予選1次リーグ1位・2位の16チームを4パートに分け、リーグ戦を行い各パートの1位・2位が決勝トーナメントに進出する。（I～Lパート：4チームリーグとする。）

③ 決勝トーナメント：予選2次リーグ1位・2位の8チームによるトーナメントを実施する。

④ 試合時間は12分－12分－5分－12分（第1・第2ピリオド間は、選手総入れ替えに要する時間のみ）第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したところでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねることとする。

⑤ 予選1次・2次リーグの順位決定は、（1）勝ち点【勝＝3、分＝1、敗＝0】（2）得失点（3）総得点（4）直接対戦（5）抽選の順による。

決勝トーナメントにおいて、同点の場合は、出場中の3選手によるPK方式とする。ただし、決勝戦のみ同点の場合は3分2回の延長戦を行い、なお決しない場合は出場中の3選手によるPK方式により決定する。

⑥ 試合球は4号検定皮製ボールを使用する。（予選リーグは、各チーム持ち寄り。決勝トーナメントは協会準備）

⑦ 審判は主審1名と予備審判1名の2名とする。予備審判は記録・交代管理・時計を担当する。

審判員は、審判着を上下着用しワッペンをつける。審判要員は、必ず試合会場運営者に審判証（写真貼付）の提示をすること。（「KICKOFF アプリケーション表示の電子登録証」（スマホ・タブレット）も可）予選リーグ及び決勝トーナメント1試合目（予備審判）は、別表割当てにより行うものとする。

- ⑧ 第3ピリオドの選手の交代は、主審・予備審判の承認を得る必要はなく、ボールがインプレー中、アウトプレー中にかかわらず行うことができる。（新型コロナ感染対策とし、交代時におけるピブスの受け渡しは行わないものとする。）交代して退く選手は交代ゾーンからフィールド外に出る。また、交代選手は交代ゾーンからフィールドに入る。

ただし、GKの交代については、主審・予備審判の承認を得て、アウトプレー時にのみ可能とする。

- ⑨ ピッチサイズは縦68m、横50mを推奨する。その他のサイズは11人制と同じとする。

7 その他

- ① 大会期間中、上記3「参加資格」①～③を満たす選手、16名以上を確保すること。出場可能な選手が15人以下になったときは以下の通りとする。

A 予選リーグについては、得失点により順位決定に影響を与える場合があるため、当該チームとの全対戦結果を0-4の不戦敗扱いとする。

B 決勝トーナメントにおいては、当該試合は不戦敗（0-4）扱いとする。

- ② 暴力・暴言・威嚇や差別を排除し、子どもたちの安心・安全な環境づくりの一環としてマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置することがあります。気づきがあった場合は当該チーム、指導者に対してお話しする場合があります。

- ③ 本大会の優勝及び準優勝の2チームは、山梨県代表として『2022JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東』（埼玉県開催）への出場権を得る。

- ④ 予選1次リーグ、予選2次リーグ及び決勝トーナメントは雨天実施とする。ただし、著しく荒天の場合は、4種委員会にて協議の上、代替日を設定する。

- ⑤ 予選1次リーグの会場設営、試合等の運営は、運営責任チーム（会場提供チーム）が中心となりパート内のチームで行うこと。（予選1次リーグの会場は、パート内で協議上、決定を行う。なお、会場利用料は、パート内で負担とする。）

予選2次リーグの会場設営、試合等の運営は、各パートの予選2次リーグ参加全チームで行うこと。（**会場使用に関する費用は4種委員会で負担とする。なお、運営費の捻出はありません。**）

- ⑥ **運営責任チーム（会場提供チーム）**は、予選1次・2次リーグの試合結果等に誤りがないことを確認し、試合終了後、直ちに広報部へ連絡すること。

連絡先：鈴木和幸（広報部長）

FAX 055-251-7164 メール suuks@pg7.so-net.ne.jp

8 問い合わせ先

実行委員長 石原幸周 山梨県サッカー協会4種委員会委員長

大会運営責任者 峡北地区理事 福田和久 090-4709-8503

峡北地区理事 窪田圭司 090-2455-0172

事業運営部長 三科健二郎 090-2255-1595

会場運営責任者 各パート会場提供チームの責任者（予選1次リーグ）、**予選2次リーグ進出チームの責任者（予選2次リーグ）**